

全国農業

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

2023年(令和5年)

10月20日

金曜日
月4回金曜日発行

首都圏

これで勝負!

大消費地にいどむ

首都圏農業

■ 137 □

身延町 あけぼの大豆

【山梨】本紙1面で取り上げられた身延町の「あけぼの大豆」。あけぼの大豆の特徴をダイレクトに実感できる枝豆の収穫は今月下旬までだが、大豆の収穫は12月、1月まで続く。

同町が2017年に整備した「あけぼの大豆拠点施設」では、あけぼの大豆を周年で味わえるよう加工品が作られている。同施設で作られている加工品で人気ナンバー

ワンなのが「極上枝豆焼売」。枝豆がクラッシュした状態で入っていて、あけぼの大豆特有の甘さと食感を楽しむことができる商品だ。

このほかにも、あけぼの大豆やゴボウ、タケノコなど7種の地元食材をこたわりのだしと調味料でじっくりと煮込んだ



Ⓐ施設長の遠藤さん、Ⓑ加工品の極上シリーズ

甘さ・食感 楽しめる加工品

「極上七宝煮」、クラッシュカレーやフランスパンにのせて大人の風味を楽しめる「極上枝豆ディップソ

ルティー」など種類は13を数える。今年5月にはおやつやつまみに最適な「しつと

り焼き大豆」も新たに開発し、売り上げも好調だという。同施設長の遠藤一彦さんは「今後も加工品を通してあけぼの大豆の生産と加工に力を入れていきたい」と語る。